

① ^{ぶん}文を^よ読みながら「ら・り・る・れ・ろ」に○(まる)をつけましょう。

おしりのかたちのかおでおなじみのおしりたんていは、にせんじゅういちねんにあいぱっどのこどもむけのえほんあぶりとしてとうじょうしました。

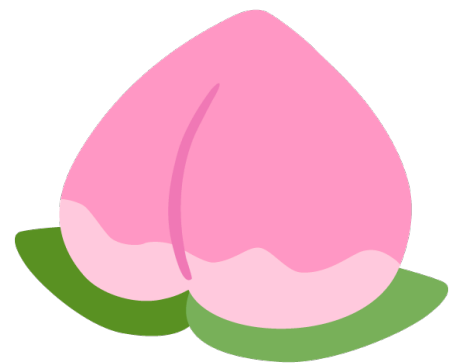
にせんじゅうはちねんからは、えぬえいちけいで、おしりたんていのでればあにめがほうそうされはじめました。ものがたりでは、おしりたんていのじょしゅのぶらうんとともに、さまざまななんじけんをかいつしていきます。

おしりたんていのくちぐせは「ふーむ、においますね。」です。また、はんにんをおいつめるときのひっさつわざとして「しつれいこかせていただきます。」とって、きょうれつなにおいをはなちます。

② それぞれの^{かな}仮名の^{かず}数を^{かぞ}数えて、^{すうじ}数字を^か書きましょう。

ら	り	る	れ	ろ
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

③ ^{なに}何について^か書かれた^{ぶん}文でしたか？^{おし}教えてください。



..... 折り線

【子供向け】文章 - ひらがな版：仮名拾い（かなひろい）課題プリント その9

答え ② ら：2 り：6 る：1 れ：4 ろ：0

③ おしりたんていについて書かれた文。など